

部品交換要領書

玄関ドア・防火玄関ドア[DH=1900] D51～54・61～63用
サムラッチ(外)・シリンダーセット

HHW12-123
2016年 9月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

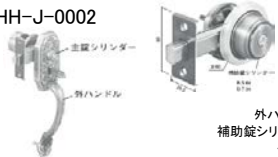
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しく締めつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

サムラッチ(外)・シリンダーセット	部品交換要領書
HH-J-0002  外ハンドル:1個 補助錠シリンダー:1個 子カギ:3本	本書 1枚

※取付ねじは同梱されていません。
現在取り付いている取付ねじを使用してください。

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー	
外ハンドル、主錠シリンダー、補助錠シリンダー取付ねじ用 2番タイプ(通常タイプ) 	外ハンドル勝手違い取付ねじ用 1番タイプ(先端が細いタイプ) 
1本	1本

部品の取りはずし方

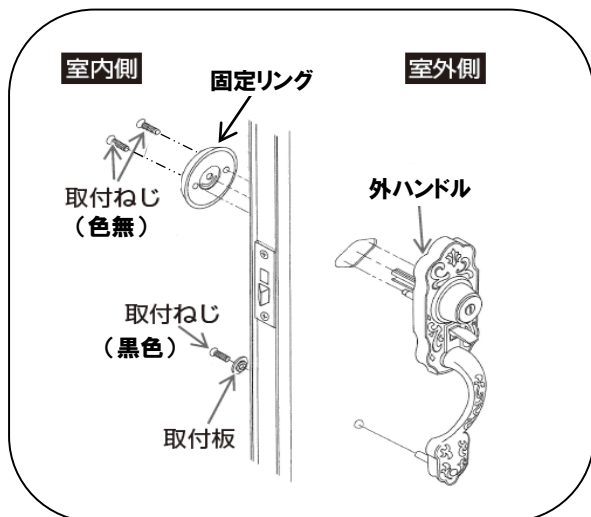
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 握り玉の取りはずし

[握り玉部品交換要領書]を参照して握り玉を取りはずす。

2 外ハンドルの取りはずし



※意匠が類似したハンドルで説明していますが、取りはずし方は同じです。

室内側よりプラスドライバーで固定リングおよび取付板の取付ねじをはずし、固定リングおよび外ハンドルをはずす。
※取付ねじをはずすと、外ハンドルがはずれます。
落下にご注意ください。
※取りはずした固定リングおよび取付板、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

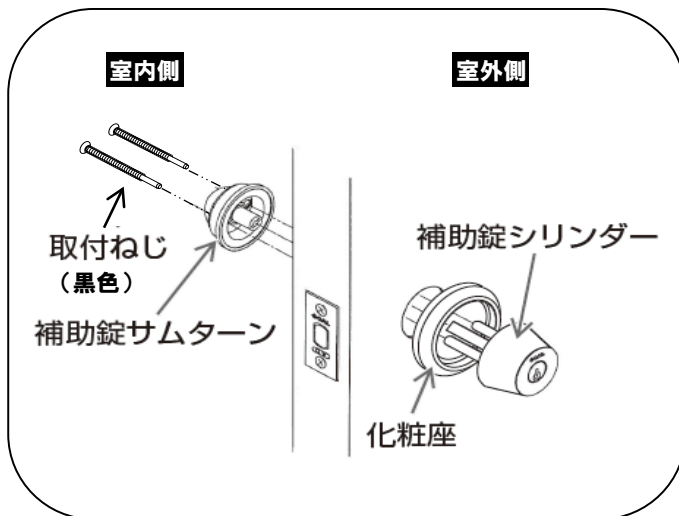
※部品の取り付け方は2・3・4ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダー、化粧座をはずす。
※取付ねじを取りはずすと、シリンダーおよび化粧座がはずれます。落下に注意ください。
※取りはずしたサムターンおよび化粧座、取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

※部品の取り付け方は2・3・4ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

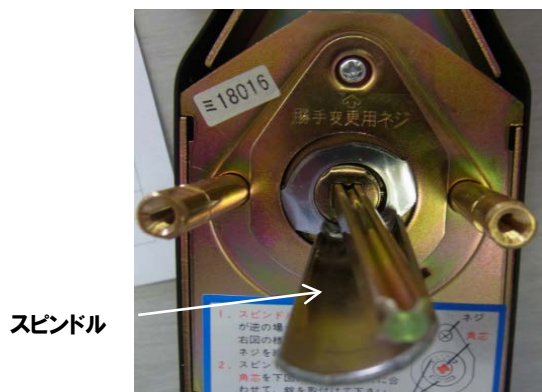
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠ケースの勝手の確認



主錠ケースの穴の向きが左写真の場合、ハンドルのスピンドルの向きが同じなので、そのままハンドルを主錠ケースの穴に差しこむ。
→次頁の3項目に進む。

主錠ケースの穴の向きが下写真の場合、ハンドルのスピンドルの向きを変更する必要がある。
→次頁の2項目に進む。



※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2 外ハンドルの勝手変更



- ①1番タイプのプラスドライバーで外ハンドル裏面の勝手変更用ねじをはずし、スピンドルの向きを主錠ケースの穴に合わせ、スピンドル押え板をセットし、ねじをしめる。
※ねじを回す際、先端が細い1番タイプのプラスドライバーを使用してください。
通常の2番タイプのプラスドライバーを使用すると、十字穴がなめてねじが回らなくなるおそれがあります。

2番タイプ(通常タイプ)

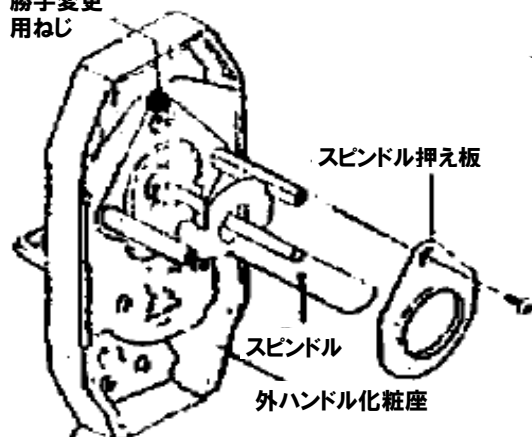
1番タイプ(先端が細いタイプ)

×

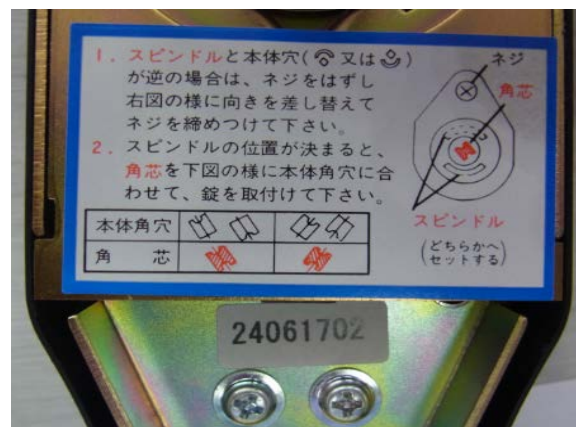
○



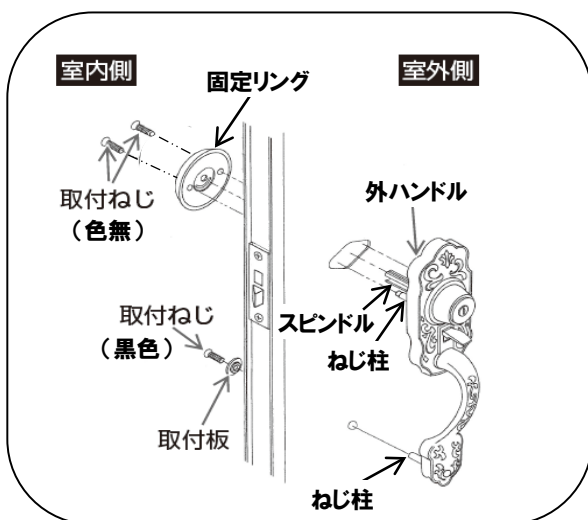
勝手変更用ねじ



- ②角芯を錠本体ケースの角穴に合わせる。
※詳細は外ハンドル化粧座裏面のラベルを参照してください。



3 外ハンドルの取り付け



※意匠が類似したハンドルで説明していますが、取り付け方は同じです。

- ①室外側より外ハンドルを主錠ケース穴に差し込む。
※スピンドル、角芯、ねじ柱を各穴に差し込んでください。
②室内側より固定リングをねじ柱に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
③室内側より取付板をねじ柱に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

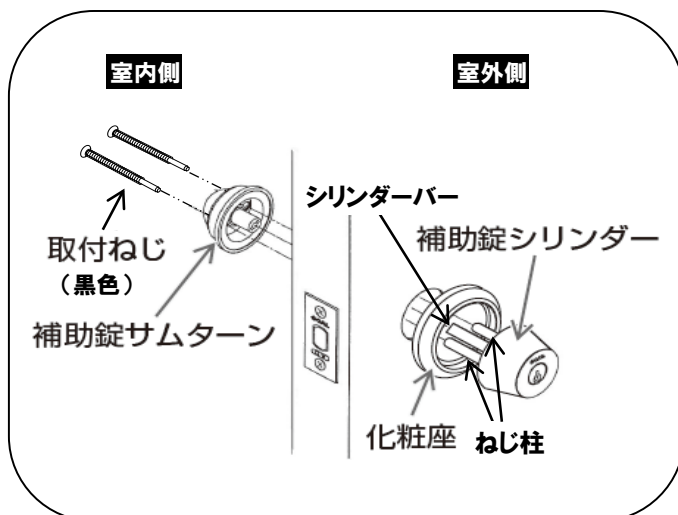
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

4 補助錠シリンダーの取り付け



- ①シリンダーに化粧座を取り付け、室外側よりシリンダーバーおよびねじ柱を錠ケースの取付穴に差し込む。
※シリンダーの GOAL マークが上になるように差し込んでください。



- ※シリンダーのシリンダーバーの向きを錠ケースのハブ穴の向きに合わせて差し込んでください。
②室内側よりサムターンツマミの向きをシリンダーのシリンダーバーに合わせて差し込む。

5 握り玉の取り付け

[握り玉部品交換要領書]を参照して握り玉を取り付ける。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけをゆるめて調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品交換要領書

玄関ドア・防火玄関ドア用 内握り玉・サムターン

HHW12-082
2014 年 10 月発行

YKK
AP

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

内握り玉・サムターン	取付ねじ・工具	交換要領書
HH-J-0005 HH-J-0570  内握り玉 : 1 個	 固定リング取り付け用 : 2 本  丸座しめつけ用スパナ : 1 ヶ	 本書 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

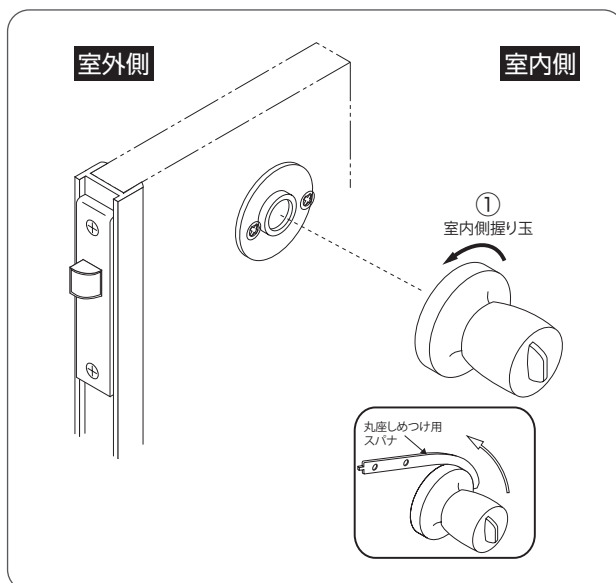
プラスドライバー
  1 本

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 握り玉の取りはずし



- ①室内側丸座の穴に丸座しめつけ用スパナを引っかけ反時計回りにまわしてゆるめ、室内側握り玉をはずす。

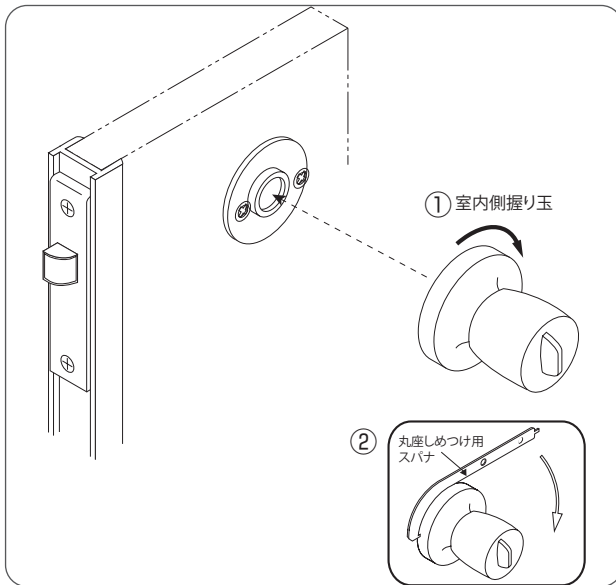
※部品の取り付け方は 2 ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 握り玉の取り付け



- ①室内側握り玉のサムターンツマミを施錠状態に合わせて差し込み、丸座を時計方向にまわして固定リングに取り付ける。

サムターンツマミの向き



- ②室内側握り玉の丸座に丸座しめつけ用スパナを引っかけて時計回しにまわしてしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③握り玉を動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は 1 ページをご覧ください。